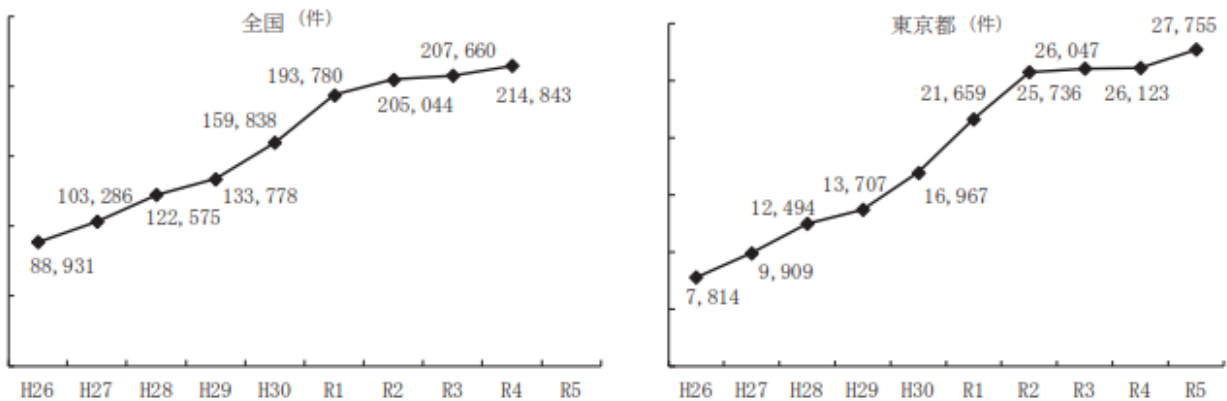


参 考 資 料

■児童虐待の実態

児童相談所における虐待相談対応件数は、全国及び東京都において年々増加しています。虐待の内容別では、無視や過度な叱責、子供の面前での DV などの心理的虐待が 6 割超と最も多く、次いで身体的虐待が 2 割となっています。年齢別では、0～2 歳で 2 割弱、3～5 歳で 2 割弱、小学生期にあたる 6～11 歳でそれぞれ 4 割弱となっており、低年齢層を中心に幅広い年齢で発生しております。件数の増加は、社会全体での通告・相談の増加も反映していると考えられます。未然防止と早期対応のためには、社会全体での関心の高まりが不可欠です。

児童相談所における虐待相談対応件数



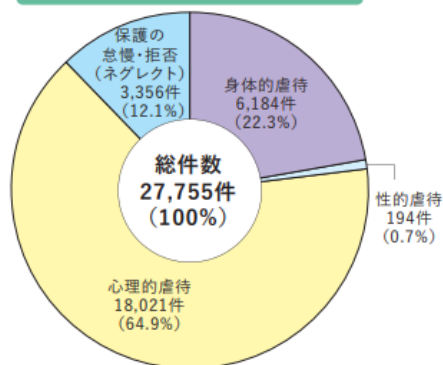
*令和 2 年度数値から特別区児相分を含む

*全国の令和 5 年度件数については令和 7 年 3 月 1 日現在未発表

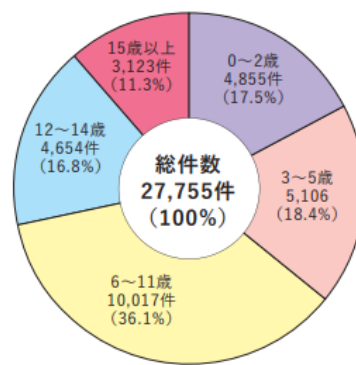
*令和 4 年度から、前々年度以前に相談を受け付け当年度に対応したものや非該当を含まない等、集計条件を変更

出典：事業概要 2024 年（令和 6 年）

内容別虐待相談対応状況（児童相談所）



年齢別虐待相談対応状況（児童相談所）



※ 東京都の非該当（1,525件）を除く。

出典：みんなの力で防ごう児童虐待～虐待相談のあらまし（2024 年版）～